

プロフィール

「キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します」

1923年の創業以来、私たちが今日まで歴史を刻むことが出来たのは、常にこの企業理念のもと活動してきたことが、企業としての価値を高め、信頼という無形の財産となって社会に認められたからではないかと考えています。

そして少子高齢化の進行、医療保険制度の変化、世界規模での業界再編…。今日の製薬企業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化を踏まえ、キョーリンは健康への貢献を多角的に捉え治療だけでなく、予防・予後、健康増進といった面からも人々のお役に立ちたいと考えました。そこで、目指す企業像として「グローバルな創薬ビジネスをコアとし、信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業」を掲げ、コアである創薬ビジネスモデルを進化させるとともに、その創薬ビジネスを支え、人々の健康に貢献できる新たな事業への進出を目指していきます。

そのためにキョーリンは、コアである創薬ビジネス、医薬事業においては特定の領域に経営資源を集中しより効率的な企業活動を展開します。

創薬ビジネスの重点領域は「感染症」「免疫・アレルギー」「代謝性疾患」の3分野。中でも、感染症治療の可能性を広げた世界初のニューキノロン系合成抗菌剤「ノルフロキサシン」の開発によってキョーリンの創薬力は高い評価を得ました。また、メルク社へ「ノルフロキサシン」を導出し、世界の感染症治療に貢献することが出来ました。さらにそれに続く、「ガチフロキサシン」もプリストル・マイヤーズ スクイブ社、アラガン社へ導出するなど、外部資源をフル活用したアライアンス戦略を展開することで、世界の人々の健康に貢献し、自社開発製品の極大化を図ります。

国内においては主力製品に関連の深い「呼吸器内科」「耳鼻科」「泌尿器科」を重点領域とするフランチャイズカスタマー（FC）戦略を推進し、これらの分野の医療関係者や患者さんのニーズにきめ細かく応えることによって確固たる信頼関係の構築に努めます。

キョーリンは健康貢献企業としてこれからも独創的な発想力をもって個性的で存在意義のある企業でありつづけるために、創業の精神を受け継ぎつつ、新たな歴史を築き上げていきます。

CONTENTS

社長メッセージ	1
マネジメント・クオリティを高めるために	3
事業概況	6
開発品の動向	8
コーポレート・ガバナンス	9
取締役・監査役および執行役員	10
財務セクション	11
組織図	31
会社情報	32



貧しい患者からは治療費の代わりに杏の苗を受け取ったという、古代中国の伝説の名医・董奉。健康を願う「杏林」の名はまさにこの董奉の心から生まれたものです。

見通しに関する注意事項

このアニュアルレポートに記載されている、杏林製薬の見通し、計画、戦略およびその他の歴史的事実に当たらないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報に基づいて、当社が現時点で合理的であると判断したものです。したがって、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、競争圧力、法律および規制、製品の開発状況の変化、為替の変動などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。